

骨塩定量検査

骨塩定量検査

コード	検査項目	検体	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	備考
974	骨塩定量検査	X線フィルム	専用 フィルム袋	常温	3~4	140	DIP法	下表参照
1000	骨塩定量検査(フィルムレス)	電子媒体	専用袋	常温	3~4	140	DIP法	下表参照

※骨塩定量検査は、骨粗鬆症の診断及びその経過観察の際にのみ算定できる。ただし、4月に1回を限度とする。なお、本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に実施日を記載する。

撮影・現像方法

①アルミステップ

右図のようにアルミステップをカセットに対して直角に置き、ステップの低い方が手前になるようにセットしてください。
(※アルミスローブは厚い方が手前)

②カセット

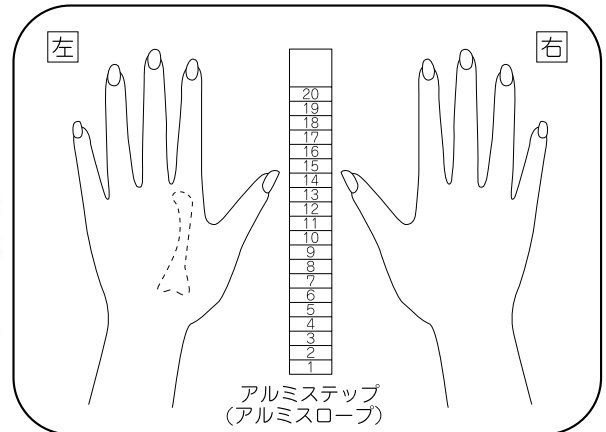
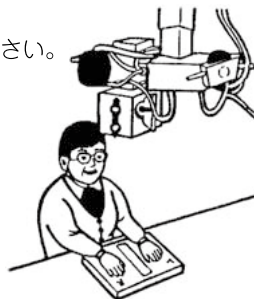
グリッド(リスカセット)は使用しないでください。
氏名、撮影日、手の左右識別に「右、左」
又は「R、L」等の表示を入れ、試し撮りで
決定した条件に設定してください。

③手の位置

手のひらをカセットに可能な限り密着させ、
指を軽く開いた状態で撮影してください。

④現像

フィルムに、ムラ・キズのないように現像してください。



m-BMD (骨塩量) 中手骨骨塩量のアルミ厚さ換算値(mmAl)
MCI 骨皮質幅指数(骨幅に対する皮質部の割合)
YAM% 性別の若年成人平均値に対する実測値の百分率(%)
Age% 性と年齢を一致させた基準値に対する実測値の百分率(%)
GS max デンシトメリーパターンの桡側、尺側の各最大値の平均(mmAl)
GS min デンシトメリーパターンの中央部最小値(mmAl)
d 骨髄質幅(mm)
D 骨幅(mm)
L 第二中手骨の長さ(mm)

基準値

年齢	女性	
	YAM値 例数	2.864 平均値
20~24	2,252	2.788±0.240
25~29	3,192	2.854±0.242
30~34	5,653	2.877±0.241
35~39	7,032	2.880±0.247
40~44	7,263	2.867±0.250
45~49	9,163	2.835±0.258
50~54	8,382	2.705±0.289
55~59	8,190	2.502±0.294
60~64	7,337	2.375±0.288
65~69	5,854	2.272±0.286
70~74	2,688	2.172±0.289
75~79	952	2.073±0.310
80~84	223	1.975±0.279
85~	43	1.847±0.253
計	68,520	

年齢	男性	
	YAM値 例数	2.984 平均値
20~24	156	2.907±0.293
25~29	335	2.932±0.273
30~34	250	3.010±0.279
35~39	365	3.047±0.289
40~44	517	2.997±0.300
45~49	665	2.952±0.304
50~54	826	2.960±0.291
55~59	708	2.931±0.311
60~64	621	2.939±0.311
65~69	562	2.884±0.349
70~74	355	2.836±0.326
75~79	171	2.774±0.376
80~	59	2.796±0.362
計	5,590	

